

明治三十六年十月三十日印刷
同 年十一月三日發行

定價參拾錢

著者 相續人 本田了英

愛知縣碧海郡志貴崎村番外

校訂者 石川馨

京都市下京區中殊數屋町烏丸
東入二十八講町二十二番戶

發行兼印刷者 西村七兵衛

著作權
所有

發行所

京都市東六條
電話三五八番

法藏館

今井昇道師著

●他力安心示談

全一冊

四號活字半かき付 正價貳拾五錢
製本丹表紙付 郵稅四錢

本書は、今井昇道師が、未來永劫の大事に心懸け。或は僧俗の名師を尋ねて苦悶を披瀝し、或は聖教に眼をさらし往生の要路を探り、時に泣き、時に笑ひ、時に迷ひ、時に悟り、或は金剛の安立を得たりと謂ひ、或は疑惑の城中に捉へられたりと悲しみ。口稱募りに傾き、法體募りに走り、時に意業を以て佛助け給へと氣張り、時に捨て任せを以て法體に放心し。時に佛教の眞理を疑ひ、靈魂の存在をわやしみ、時に因果の大法を疑ひ彌陀佛の實在を斥け、疑惑に疑惑を重ね、煩悶に煩悶を重ねて、遂に南無阿彌陀佛の意義、たのむ一で助かると云ふ、宇宙自然の大眞理を實驗し、依りて以て一切の疑問を解決せる精神の經過を、諸方の信徒の疑義に應じて披瀝せる、法藏誌上の示談を蒐集せるものあり。

若世に同じ志の人ありて、同じ疑惑に懊惱しつゝあるか、若くは既に永劫の問題を解決して、信後心靈の修養に志しつゝある人は、乞ふ幸に一本を得よ。或は心界の暗黒に明期の道光を得べく、或は信後の相續に幾分の助縁をも得べければ。

發行所 京都市東六條 法藏館

通信示談本誌の特色なり

【布教一家の大機關】

法藏

毎月一回
一日發行

【説教演説の良師友】

活け總會所は示談にあ

信仰を求むる人は早く「法藏」を御覽なさい

法藏 この欄をよめは吉谷講師初め知名の學者の難有き法話が家にすわつて聞かれます。

示談 では御安心に不審のある方か命がけで尋ますのを今井師が一々親切に答へられます。

修養 は眞宗の青年が如何に世に活動すべきかの活きた心靈の修養に就て有益の機關です。

家庭 では清き佛の光ある家庭を説きて面白い樂しい婦人子供の讀物をのせます。

美譚 には世のためたき信者の傳や古今の感心な事蹟を紹介して讀者の手鏡とします。

雜録 には種々の心得、世間の出來事など何でも有益なる記事をとりあつめます。

定價一部五錢
○半年分卅錢
○一年分五拾錢
(郵稅不用)

光明に住む人は常に「法藏」をお讀なさい

●●誌維新のねいち待お●●

間接布
教の大
霸王！

法の寶

年玉法
事の好
贈品！

〇〇讀めよ讀めよ功德あふるゝ好雜誌と、月に必ず一度は〇〇

○心靈の貧しき人達に、佛のみ蔵を開けて、功德を施すたうとひ雜誌です、で、その主意は通佛敎の信仰を弘めるのにあつて、老幼男女、誰でも讀めます。早く讀んで、自分が澤山の寶持となつたら、

佛敎道徳の大義
因果の理法
十果の魔王
佛敎の衛生談
堪忍の修養
家庭の宗教
佛敎の社會主義
光明の家庭
世界第一の偉人

菅公信佛談
活きた佛
靈魂の問答
人の行と佛
青年の行と佛
人の頭と佛
實験的宗教
我々の宗教

表紙石版製本美麗
定價一部壹錢〇郵税
五厘〇但八冊迄郵税
武錢の割八冊毎に武
錢増す〇一年分拾八
錢(郵税共)

京都市東六條
發行所 法藏館

廣く天下にも恵を願けて下さい、世間には心の貧しい人達が多いから、之を法事や年玉に施本して下さいと、間接の大布敎にありませう、大奮發の廉價で毎月一回(廿五日)發行します。

〇〇施せや施せや佛のめくめく法の寶と、人に必ず一部は〇〇

